33. 血管外科

血管外科部長　松元 崇

2025年に当科で行った手術の症例数は以下の通りで、ほぼ例年通りでした。

末梢動脈疾患においては、従来通り包括的下肢慢性虚血の患者様を中心に、個々の患者様の下肢の血管病変などにあわせて血行再建術（バイパス手術・血管内治療・ハイブリッドなど）を選択しています。本年からは、急性動脈閉塞に対する血栓吸引デバイスでの血栓除去も開始しました。

下肢静脈瘤については、血管内レーザー焼灼術に加え接着剤による血管内治療（グルー治療）も導入しており、患者様のご希望で日帰りないし1泊2日での治療を選択して頂いております。

腹部大動脈・腸骨動脈瘤に関しても、患者様の全身状態や解剖学的要因およびご希望にあわせて開腹手術やステントグラフトでの治療を行っています。

今後も一層のご指導、ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い致します。

2025 年診療実績

手術症例数

末梢動脈疾患

バイパス移植術：22、 EVT：16（含むハイブリッド手術 4）

動脈血栓内膜摘出術：12、 動脈塞栓除去：11（うち血栓吸引 2 例）

末梢動脈瘤手術：7、 血管吻合術：18

静脈疾患

下肢静脈瘤血管内焼灼術：84

腹部大動脈瘤・腸骨動脈瘤（心臓血管外科と重複あり）

人工血管置換：11、 EVAR：55

その他：4

総手術数　240 例